

平成30年度第1回伊勢市行政改革推進委員会 会議録

1. 日 時 平成30年4月19日（木）9：30～11：00
2. 場 所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）4階 小会議室1
3. 出席者 筒井委員、藤井委員、三輪委員、加藤委員、田岡委員、花房委員
4. 事務局 浦井情報戦略局長、杉原情報調査室長、中川主幹、奥山、森口
5. 内 容

- （1）委員委嘱
- （2）会長及び副会長の選出について
- （3）議題
 - ①事務事業たな卸しチェックシートについて
- （4）その他

6. 会議録（要旨）

①事務事業たな卸しチェックシートについて

前回の会議において委員からいただいたご意見と庁内ワーキンググループでの意見を踏まえ、修正した案について、以下のとおりご意見をいただいた。

- ・行革と総合計画は表裏一体であり、事務事業の目的の記載にあたっては、総合計画のどの施策と関連するのか明確にするべき。
- ・1人の職員が複数の事業に携わっていたり、同じ事業に複数人が携わっている中で、事業ごとに時間外時間数を算出することはできない。係の合計だけでよいのでは。
- ・事業ごとに時間外勤務時間数を算出するのは難しいが、各事業にどれくらいの労働時間がかかったかという視点は大事。
- ・民間事業者は、時間外、時間内という概念はない。その仕事に対して、何時間労働したかという考え方をする。
- ・課の時間外勤務時間数の合計に対し、目標値を定め、削減に取り組むのであれば使える。
- ・労務管理の部分は、行革推進委員会の範疇か。
- ・たな卸しの視点「公平性」の選択肢に、「公平である」など公平性が保たれている場合の選択肢を追加した方がよい。
- ・たな卸しの視点「取巻く環境」には、人口減少や少子高齢化といった視点があってもよいのでは。技術的な視点にとどまらず、広い視野をもってほしい。
- ・視点はよいと思うが、必要な取組がでてくるか疑問。
- ・取組方針の「①選択と集中」を①廃止、②統合、③拡充、④縮小と区分した方が選択しやすい。
- ・取組方針の①選択と集中は、ほとんど取組として出てこないのでは。対象が事務事業単位と細かいため、ほとんどが④手法変更と⑤効果的・効率的な組織運営にならないか。
- ・見直しの余地のない事業は、取組方針に選択肢がないがどうすればよいか。
- ・項目の並びが「取組内容」→「備考」→「取組の目標」の順となっているが、まずは目標を定め取り組むべきなので「取組の目標」→「取組内容」→「備考」の方がよいのでは。

事務局

- ・意識付けのためにも、事業ごとの時間外勤務時間数は把握したい。
1度実施させていただき、うまくいかなければWGや委員の皆さんに意見をいただきながら、内容を変更していきたい。
※労働量の実態がある程度視覚化できれば良いと考える。(資料説明時)
- ・労務管理の部分は、行革推進委員会の範疇ではない。

○その他

次回委員会において、以下のご意見をいただくことを確認した。

- ・委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ修正した、たな卸しチェックシートについて
- ・現行革の平成29年度実施結果とあわせ、平成26年度から平成29年度までの4年間の取組みの総括について
- ・新たな計画案について

次回開催日

第2回 日時 H30.5.7 (月) 13時～

場所 伊勢市役所東庁舎4-2会議室